

ハロー

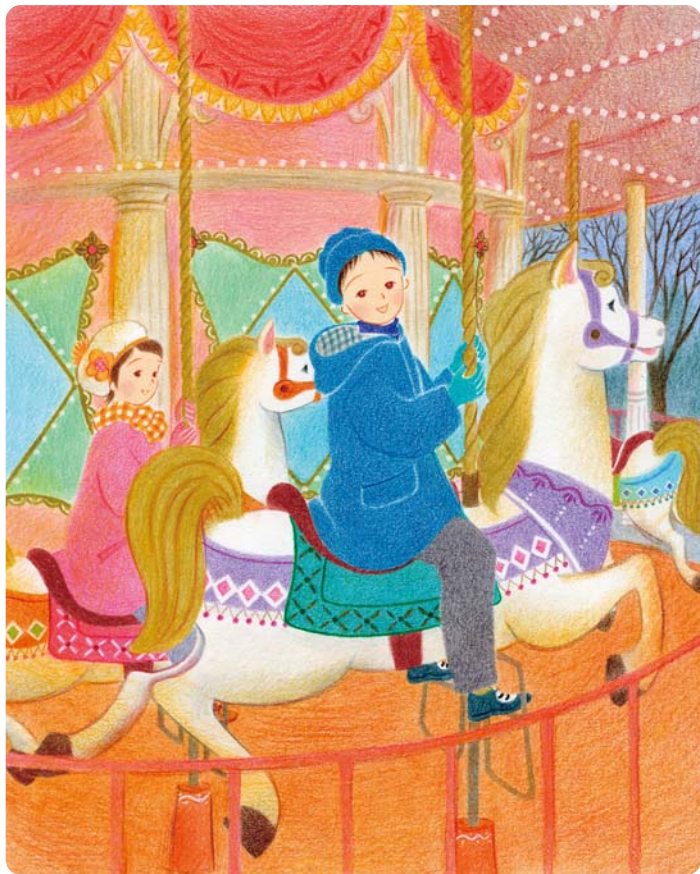
2012年12月

140号

インフォメーション

NTT東日本からのお知らせ

NTT東日本ホームページ
<http://www.ntt-east.co.jp/>



ユニバーサルサービス料について(概要)

NTT東日本では、110番や119番などの緊急通報、公衆電話、山間部や離島を含めた固定電話通信などのユニバーサルサービスを、いつでも、どこでも、誰もが利用可能な料金でお客さまにご利用いただけるように、通信網の維持・保守に取り組んでいます。このユニバーサルサービスを維持するために、平成19年1月より各電話会社が「ユニバーサルサービス支援機関*1」を通じて費用を出し合う「ユニバーサルサービス基金制度」がスタートしました。

NTT東日本は従来、経営効率化に取り組み、人件費や経費の削減など、あらゆる費用を対象に大幅なコスト削減を実施しておりますが、近年のユニバーサルサービスを取り巻く環境は、

- ①携帯電話の普及拡大および都市部を中心としたIP電話や他事業者が提供する固定電話サービスとの競争の進展
- ②従来、NTT東日本・NTT西日本と接続事業者が応分に負担してきたコストの一部を、基本料コストに付替えるという制度変更*2

など大きく変化しており、その結果、ユニバーサルサービスの収支は平成23年度で▲589億円の赤字となっております。

一方、ユニバーサルサービス基金制度により支援される額は、実際のサービス提供に要した費用を用いて算定するのではなく、長期増分費用モデル*3に基づく費用で算定しており、かつ、加入電話については、著しい高コストの地域に対象が限定されていることなどから、実際の赤字の一部となっております。

今般、ユニバーサルサービス支援機関が定める各電話会社の1電話番号当たりの負担額(番号単価)は、平成25年1月からも現行と同様月額3円となりました。これに伴いまして、引き続きお客さまには1電話番号当たり月額3円(税込3.15円)の「ユニバーサルサービス料」をご負担いただきます。

NTT東日本は、基金制度の下で、今後もユニバーサルサービスの維持につとめてまいります。みなさまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

- *1 社団法人電気通信事業者協会が総務大臣より指定されています。
- *2 平成17年度から交換機コストの一部を段階的(平成23年度は5分の5)に基本料コストに付替えるものです。なお、このコストのうち、線路点RT(メタルケーブルに収容する電話などの通信を加入者交換機まで光ファイバで伝送するための多重化装置)から加入者交換機間の伝送路の一部費用については、平成20年度より基本料コストから段階的(平成22年度は5分の4、平成23年度は5分の5)に交換機コストに戻すこととされております。
- *3 通信網の費用を実際の費用発生額ではなく、現時点で利用可能な最も低廉で最も効率的な設備と技術で新たに構築した場合の費用額に基づいて計算する方式。

①料金額 [1電話番号当たり月額]

ユニバーサルサービス料*4・5	3円(税込3.15円)
-----------------	-------------

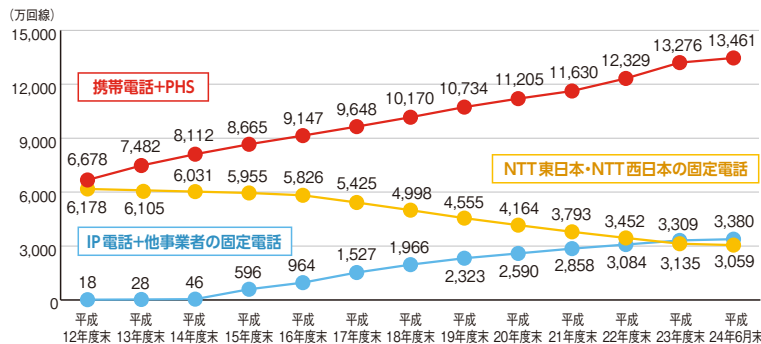
- *4 ユニバーサルサービス料は、ユニバーサルサービス支援機関が定める番号単価と同額です。
- *5 適用する電話番号は、加入電話サービス、総合デジタル通信サービス(ISDN)、ひかり電話サービスなどの契約者回線に係る電話番号およびダイヤルイン、i・ナンバー、マイナンバー、二重番号、フリーアクセス(0120、0800から始まる電話番号)、ダイヤルQ²(0990から始まる電話番号)などの付加サービスに係る電話番号です。

②実施時期 平成25年1月1日(火)

- ③その他 ユニバーサルサービス支援機関が定める番号単価については、社団法人電気通信事業者協会のホームページ(<http://www.tca.or.jp/universalservice/>)において公表されています。

固定電話回線数などの推移

携帯電話の普及拡大および都市部を中心としたIP電話や他事業者が提供する固定電話サービスとの競争の進展により、NTT東日本・NTT西日本の固定電話が減少しています。

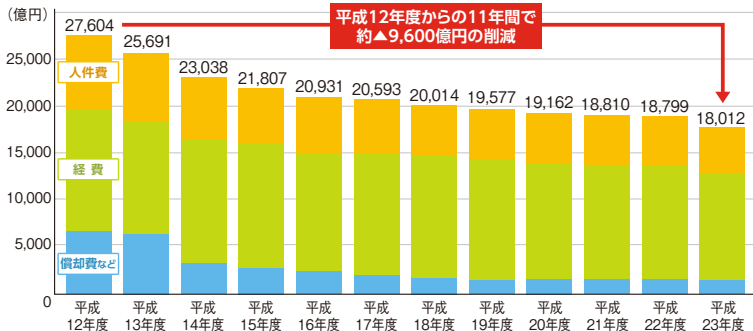


※総務省の公表資料をもとに作成 ※固定電話は、加入電話とISDNの合計 ※IP電話は、050番号と0AB～J番号によるものの番号数の合計 ※数値は、NTT東日本・NTT西日本エリアの合計

平成23年度に実施したNTT東日本の経営効率化

平成23年度についても一層の経営効率化に取り組み、大幅なコスト削減を実施しており、平成12年度からの11年間で約▲9,600億円の費用を削減しています。

営業費用の推移



平成23年度におけるNTT東日本のユニバーサルサービス収支の現状

- 収益の減少による収支の悪化をコスト削減で補うよう取り組み、対前年で6億円の収支改善につとめましたが、従来、NTT東日本・NTT西日本と接続事業者が応分に負担してきたコスト(NTSコスト*1)の負担方法の変更に伴う基本料コストの影響などにより、平成23年度におけるユニバーサルサービス収支は▲589億円の赤字となっております。
- なお、平成23年度決算において計上した東日本大震災に係る災害特別損益81億円のうち、ユニバーサルサービス相当32億円を営業費用に含めた場合の営業利益は、▲621億円の赤字となっております。

*1 NTSコスト(Non-Traffic Sensitive Cost)とは、交換機設備のうち、通信量の増減によって変化しない装置のコストを指します。

サービス名	平成22年度			平成23年度			災害特別損益の影響考慮後の営業利益
	営業収益	営業費用	営業利益	営業収益	営業費用	営業利益	
加入電話・基本料	3,364億円	3,933億円	▲569億円	3,053億円	3,615億円	▲562億円	▲594億円
第一種公衆電話(市内、離島通信)	10億円	32億円	▲22億円	9億円	32億円	▲23億円	▲23億円
緊急通報	-	3億円	▲3億円	-	3億円	▲3億円	▲4億円
合計	3,374億円	3,968億円	▲595億円	3,062億円	3,651億円	▲589億円	▲621億円

+6億円の収支改善

NTT東日本へのユニバーサルサービス基金制度による支援額

支援額は、実際のサービス提供に要した費用を用いて算定するのではなく、長期増分費用モデル*1に基づく費用で算定しており、かつ、加入電話については、著しい高コストの地域に対象が限定されていることなどから、今年度のNTT東日本への支援額は、ユニバーサルサービスの実際の赤字▲589億円(災害特別損益の影響考慮後の赤字▲621億円)の一部である、43億円が支援されることとなります。

サービス名	平成23年度の営業利益	(参考) 災害特別損益の影響考慮後の営業利益	基金による支援額
加入電話・基本料	▲562億円	▲594億円	23億円
第一種公衆電話(市内、離島通信)	▲23億円	▲23億円	20億円
緊急通報	▲3億円	▲4億円	0.2億円
合計	▲589億円	▲621億円	43億円

長期増分費用モデルに基づき算定

支援額の算定は、実際にかかったコストではなく、長期増分費用モデルを用いることにより、現時点で利用可能な最も低廉で最も効率的な設備と技術で新たに構築した場合のコストとなっています。

支援対象の地域と費用の絞り込み

加入電話(基本料・緊急通報)の支援対象は、著しい高コストの地域*2に限られており、さらに加入電話・基本料の支援される費用の範囲は、著しい高コストの水準*3を上回る部分に限られています。

支援を受けても残りの赤字(▲545億円)はNTT東日本自身が負担

- *1 通信網の費用を実際の費用発生額ではなく、現時点で利用可能な最も低廉で最も効率的な設備と技術で新たに構築した場合の費用額に基づいて計算する方式。
- *2 全国の加入数の4.9%の地域とされています。
- *3 平均コストに標準偏差の2倍を加えた額とされています。

「ユニバーサルサービス料」について

ユニバーサルサービスの維持に必要な費用を賄うための各電話会社の1電話番号当たり負担額(番号単価)が平成25年1月からも現行と同様月額3円となりました。これに伴いまして、引き続きお客さまには1電話番号当たり月額3円(税込3.15円)の「ユニバーサルサービス料」をご負担いただきます。

ユニバーサルサービスコストの負担について

NTT東日本・NTT西日本のユニバーサルサービスの赤字▲1,079億円

NTT東日本・NTT西日本の負担1,005億円

基金からの支援74億円

毎月の電話番号利用数に応じて、1電話番号当たり3円を拠出

お客さまに「ユニバーサルサービス料」としてご負担をいただいております

8億円を拠出

NTT東日本

NTT東日本のお客さま

8億円を拠出

NTT西日本

NTT西日本のお客さま

57億円を拠出

他の電話会社
他の固定電話、携帯電話、PHS事業者など

他の電話会社のお客さま

*事業者別の拠出額は、平成24年6月末の電話番号利用数に基づく試算値です。

NTT東日本は、基金制度の下で、今後もユニバーサルサービスの維持につとめてまいります。みなさまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ユニバーサルサービスに関する
くわしい情報はこちら

<http://www.ntt-east.co.jp/univs/>

「ネーム・ディスプレイ」サービス終了のお知らせ

「ネーム・ディスプレイ」サービス(ナンバー・ディスプレイのオプションサービス)について、ご利用者が年々減少している状況等をふまえ、平成25年2月28日をもってサービスを終了させていただきます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

- 「ナンバー・ディスプレイ」サービスは引き続きご利用いただけます。
- 「ネーム・ディスプレイ」サービスはサービス終了まで継続してご利用いただけますが、平成25年2月28日以前に解約をご希望の場合は、「116」までご連絡ください。
- 「ネーム・ディスプレイ」サービスの新規申し込み受付は、平成23年10月31日をもって終了いたしました。
- 「ネーム・ディスプレイ」サービス終了に伴い、「発信者名通知機能(申し込み者が発信した際に名前や会社名を通知する機能)」につきましても、サービスを終了いたします。

NTT東日本サプライセンタの受付時間の変更について

NTTコードレスホン電池パック、NTT-FAXトナー等の消耗品のご注文、お問い合わせを受け付けている「NTT東日本サプライセンタ」の受付時間を変更いたしました。

NTT東日本サプライセンタ **「0120-868289」**

平成24年9月30日まで

【平日】午前9時から午後9時まで
【土曜】午前9時から午後5時まで
(日・祝日・年末年始を除く)

平成24年10月1日より

【平日】午前9時から午後5時まで
(土・祝日・年末年始を除く)

電話に関する
お問い合わせ・
お申し込み

「116」

携帯電話・
PHSからは

「0120-116-000」

営業時間：午前9時から午後5時まで
(土・祝日も営業(年末年始を除きます))

ホームページ「Web116.jp」においても、NTT東日本の各種商品、サービスの注文受付や最新情報の提供を行っています。

<http://web116.jp/>

NTT東日本に関する
ご意見・ご要望

お客さま相談センター

「0120-019000」

営業時間：午前9時から午後6時まで
(土日・祝日および年末年始を除きます)

<https://www.nmrs.ntt-east.co.jp/user/>

NTT東日本のサービスの契約約款はこちらをご覧ください。 <http://www.ntt-east.co.jp/tariff/>
なお、郵送をご希望のお客さまは、「116」へお問い合わせください。

[次号発行のお知らせ] 次号ハローインフォメーションは2月発行予定です。 K12-3680[1212-1301]



ミックス
紙

FSC® FSC® C007391

※本紙には、サービスごとの消費税込みの総額を表示しておりますが、複数のサービスをご契約のお客さまにおかれましては、お手元で計算された額と実際の請求額が異なる場合がございます。